「第２１回アジア獣医師会連合（FAVA）大会」共同記者会見を開催!!

令和４年７月７日（木）、福岡県庁特別会議室において、「第２１回アジア獣医師会連合（FAVA）大会」の開催に当たり、大会主催者である公益社団法人**日本獣医師会**と開催地自治体である**福岡県**、**福岡市**の３者による共同記者会見が行われました。

共同記者会見に出席されたのは、日本獣医師会の藏内勇夫会長と福岡県の服部誠太郎知事、福岡市の高島宗一郎市長です。

「第２１回アジア獣医師会連合（FAVA）大会」は、令和４年１１月１１日（金）から１３日（日）の３日間、「アジアからのワンヘルス」をテーマとして、ヒルトン福岡シーホーク（福岡市）で開催されます。

藏内勇夫日本獣医師会会長は、発言のなかで次のように述べられました。

新型コロナウイルス感染症は、コウモリが感染源とされていますが、エボラ出血熱、サーズ、マーズ、新型インフルエンザ等の新興・再興感染症はすべて動物由来の人獣共通感染症であり、私たちの大きな脅威となっています。

このような中で、**人と動物の健康と環境の保全を一体的に捉えて対処する「ワンヘルス」の普及と実践が世界で注目を集めています。**

福岡県におかれては、全国に先駆けて「ワンヘルス推進基本条例」を制定されるなど、県民を挙げてワンヘルスの実践活動に取り組んでおられます。

「第２１回 FAVA 大会」は、そのテーマ**「アジアからのワンヘルスアプローチ」**として開催いたします。本大会は、ポストコロナ時代の幕開けとして、日常生活や経済活動の再出発を期す記念すべき国際大会として、必ず成功させたいと考えています。

私は、本大会が獣医療や医療関係者をはじめ、多くの一般市民の参加を得て成功裏に開催されることを契機として、**今後の感染症対策のキーワードとなるワンヘルスの重要性をアジア、そして世界に向けて広く発信して参りたい**と考えております。

FUKUOKA
ONE HEALTH

会見では、服部誠太郎福岡県知事から**『ワンヘルス』のロゴマーク**が発表されました。

『人と動物と環境、それぞれが生態系の中で相互に密接につながり、支え合っていることを表します。また、クリーンで明るい色使いとし、健康で健全な状態を次の世代に継承していこうという希望を込めているものです。』

マスコットキャラクター**「ワンヘルスぼうや」**

（公社）日本獣医師会、（公社）福岡県獣医師会役員の皆さん

「アジア獣医師会連合(FAVA)」とは、「Federation of Asian Veterinary Associations」のことで、１９７８年（昭和５３年）に設立されたアジア・オセアニア地域の２３カ国・地域の獣医師会の連合組織です。

大会は、地域における獣医学術交流を推進するとともに、獣医師の連携を図るため、２年毎に開催されています。

日本での FAVA 大会の開催は、１９９５年（平成７年）の横浜での開催以来２７年ぶり３回目の開催となります。

２０２２年７月８日
福岡ワンヘルス協議会・事務局